

## 四旬節第3主日

第一朗読 出エジプト 17・3-7

第二朗読 ローマ 5・1-2、5-8

福音朗読 ヨハネ 4・5-15、19b-26、39a、40-42

2026.3.8 9:30 ミサ  
カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

今日の福音では、イエス様がサマリア人の女性、また後ではサマリアの町の人々と出会っていく、そういう場面が朗読されましたけども、ユダヤ人から見てサマリア人が異邦人というわけではないんです。そこが複雑な関係にある。同じ唯一の神様を信じているし、聖書のモーセ五書の部分はサマリア人も律法として受け入れているということなんです。つまり神様がどなたであるかということについては一致している。けれど、神様が神殿を建てる場所として選ばれた場所がどこかということでは一致していないっていう、そういうことになります。ユダヤ人はエルサレム、そしてサマリア人は——「この山」(ヨハネ 4・20)って出てきますけども——グリジム山<sup>やま</sup>っていう山の上に神殿があったんですけども、この対立は根深い。それは、イエス様が生まれる120年前——正確には紀元前128年に——ユダヤ人が攻めて行って、そのグリジム山の上の神殿を破壊してしまったっていうことでもう決定的になるってことなわけです。

でもイエス様は、しかし、エルサレムでもそのグリジム山でもない所で神様を礼拝する、その恵みに出会いなさいと呼ぶわけです。それが——簡単に言えば——聖霊の恵みって言いますが、神様自身とイエスに出会うこと、そしてイエスを通してどんな場所でも神と共にあり、どんな場所でも神と共にある人はどんな場所でも生きることができる。自分の中から尽きることのない水が湧いてくるっていう——それはどんな所でも失われることのない生きる力って言いましょうか——本当に神様に出会う者は、イエスを通してそれをいただくんだってことです。

第1朗読では、荒れ野の所で「水がない」って人々が不平を言うっていう話が読まれたんですけど、しかし水が出てくる。つまり人間の目には見えない、しかし、信仰の目では、どんなところにも神様の恵みを受け取る、そういう機会はあるのだということを出発点を通して教えているというわけなんですけども、まさにその神様と本当に出会うということの中で、自分の中に神との出会いがある。だからどこの場所に行かなければとか、何をしなければっていう、そういうようなことではないのだということになります。

これは、ユダヤ人とサマリア人のそのイエス様の時代の話だけではなくて、やはりわたしたちも人と人との繋がりを通して、共同体を通して、信仰は伝えられていくが、しかしその共同体に所属するというだけだと満足するならば、神との出会いはないんだ。むしろ、それを通して、神様との繋がり、イエス様との繋がりをも自分の中にただいていかなければ、その共同体から離れたり、あるいはいろんな変化があったら、生きていく、あるいはどのようにしていったらいいか、恵みに出会っていく、そういう力をいただけないことになるばかりか、悪い場合では、色々な——現代も言われている——宗教の弊害、人と人を隔てて、あるいは何か特殊な変なグループを作ってしまう、そういうようなことに陥る。なぜならば、それは単なる人の共同体だから。そこに神様との、本当に人間を超えた、そして生きるように招かれている神様との出会いがないからということなんです。

今の日本の教会では、教会は居場所なんだということが強調されます。それはとても大切です、孤独の中に。しかし、その居場所を作る理由は、その居場所を通して実は直接そこで出会っている人たちだけではない、神ご自身との一人ひとりが内的な出会いを通して、場所や環境に左右されない、どんな所でも恵みに出会っていくって信仰の世界に導かれる、そのためであるということはないがしろにはなりません。ただ人と場所があって、人と人との繋がりがあればいいっていうのではないんだと。それは限界を持っている。

だから、今日サマリアの人たちは、人と人との繋がりの中で最初にイエス様に出会ったけど、もうそういうことじゃなくて、直接自分たちもイエス様に出会ったんだよっていうふうなのは——なんか変な言葉が最後に——「もうあなたが話してくれたからではなくて、わたしたちは自分で聞いて」(ヨハネ 4・42)ってなんか余計なこと

を言ってるように思いますけども、まさにこれはヨハネの福音書のテーマの一つです。人と人との繋がりの中でイエス様はご自分のところにわたしたちをお呼びになるけれども、しかし人と人との繋がりの中にいるということだけで満足してはならない。そこから先、直接イエス様との繋がりをいただく——それが聖霊の恵み——のでなければ、本当にその神様の恵みに出会っていることにはならないし、そこからいただける力、自分の中から湧いてくる力に出会えないんだよ、ということなんだと思います。

わたしたちがそれぞれ、その教会活動の中で、神との出会いを求め続けるということを見失うことなく、むしろ互いに助け合いながら、でも一人ひとりがイエス様と関係を深めていくことを通して、どんな場所でも、またどんな人とでも生きることができる、そういう者に変えられていきますように、恵みを願う心を新たにしたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>